

岩手山(綱張スキー場から往復)

1991. 4/9(火) ~ 4/10(水)

単独
馬場

四月七日(日) 綱張温泉館に泊まる。

4/8(月) 低気圧の通過で一日雨で休養日になってしまった。温泉に入り一日を過ごす。

4/9(火)、昨夜の天気予報では、午前中曇午後晴だがたので出発の準備をしてリフト乗場の駐車場に行つた。霧がこく視界50メートル位で車の運転もライトをつけて降りていよいよ。

晴れるまで車の中で今までのスキーツアの山行記録を書いて過ごす。午後一時頃急に青空が出て晴れたので途中まで行くことにして出発する。リフトを三本乗り継ぎ終点へ着く、シールを張り牢籠する。展望台を過ぎ三石山への分岐点を過ぎ大倉山に登り休憩し明日登る岩手山の様子を観察をする。大倉山の尾根は、地肌が出て雪が無いようだ。岩手山の火口は黒ずんで滑れそうもない。鬼ヶ城からの雪前も心配だ。時間も早いから往路を滑りスキー場のゲレンデのまろ雪を滑り今月は岩手山麓国民休暇村に泊まつ。

4/10(水)

晴

昨夜の天気予報通り快晴で岩手山はじめ秋田駒八幡平の山々がくっきり目飛わす。

朝食後リフト乗場へ行き三本リフトを乗り継ぐ。リフトの係員がハートロール事務所に登山届を出すようと言わゆるで昨日購入した登山届を提出する。

昨日通り大倉山 1400Mに登り姥倉山の草皮部をわざわざ滑る。シールを着け姥倉山の山腹を斜め登りて黒倉山との鞍部の岩場で休憩する。遠くに八幡平の町や山々がはっきりと眺められた。黒倉山に登らず針葉樹の多い斜面を 1500Mの尾根めざしてトラバースする。

シールを外し大蛇谷をめざして滑り降りる。ここで中年の草独行者に会合う。今朝東の登山道から登ってきたらしい。コースの様子を聞くと赤札の標識や竹の棒があり鬼ヶ城からの雪崩の跡もありとのことだった。安心して鬼ヶ城の岩場を右に崩れたながら斜面の間を登行する。案外今年度が緩く岩手山の火口壁が近づき不動平も近くなり今年度も緩く不動平に着いた。小屋まで行こうとしたが中止する。火口壁も雪が無いので滑れないでここで休憩 � 徒歩通り降りるこれする。

登るのには、大蛇谷から滑るには遠く御嶽山湖に着く、シールを着け 1500Mの鬼ヶ城から登らず尾根に登り斜面の斜面を降り過ぎて姥倉山の斜面を降り1500Mの大倉山に登らず巻いてや場に着きテレルにて温泉に帰る。

明日、島入に掲載された下倉プラザスキー場から津大ヶ岳ルートする予定だったが十月のスキー場を終り会津の実家に向って帰る。これでP。

コースタイム

出発 8:30 → リフト終点 9:00 → 姥倉山と黒倉山のコル 10:00 → 地獄谷 11:00 → 不動平 12:30~12:40
→ 地獄谷 13:00 → 黒倉山のコル 14:00 → 駐車場 15:00

二十一回

1

